

こすど地区公民館報

発行 小須戸地区公民館
〒956-0101
新潟県新潟市小須戸117番地
TEL (0250) 38-2234
FAX (0250) 38-5210
編集 公民館報編集委員会

「小須戸地区文化講演会」 100歳まで、いかに楽しく生きるか

志茂田景樹さんを招いて



還暦は老人ではありません。今の年齢から60を引いて、新?才で若々しく生きましょう。

「フアー。」カラフルなヘアースタイルと独特な服装で、講師の志茂田さんがステージに登場すると客席から歓声やドヨメキが沸きあがりました。今回は去る七月三十一日(日)に公民館の三階ホールで行われた、小須戸地区文化講演会をご紹介します。

小須戸地区公民館の三階ホールにはほぼ満員の聴衆を前に、例のスタイルで登壇された氏は、「100歳まで、いかに楽しく生きるか」というテーマで、ステージに演台も置かず、全く気軽な態度で一人ひとりに語りかける様に、現在の活動状況を話してくれました。

まず、第一声は、現在は百才の人を「新四十才」と言う。自分は作家活動の他に、子ども達への講話の読み聞かせの会を組織して活動している、大きな目玉で表情豊かに語りかける姿に、みなさんが引き込まれていく様でした。

まず、先生のお話は、特に高齢者の食事を食卓中心にするべきで、自分は実行している。また、酒やたばこも控えている。その事がストレスになる様では逆効果となる。

また、毎日日記をつける事や人との会話や、自分で無理なく出来る程度の家事労働等、自ら進んでやろうとする意欲が大切である。また、地域のコミュニケーションを良くする事や趣味を持って人と交わる事等が大切で、思うだけなく実行する事だ。

現在やっている「読み聞かせ」の活動ももっと広めようとしている。子どもは未来志向であるから、読み聞かせを通して、命の大切さ、健康の大切さを学ばせたいと思っている。

自分も含めて高齢者の生活では、毎食、毎日を健康の維持管理に深く関わって進める事が何より大切で、言わば、日常当り前の事として、自覚と努力があつてこそその維持増進である。

それをいかに楽しく進めるかが、各自皆さん一人ひとりの工夫にかかわっている。という様な内容を表情豊かに

ちょこっと一言 (209)

母親の集い

最近、友人に誘われて金曜日の午前中、公民館で行われているリズム体操に11ヶ月になる娘と一緒に通うようになりました。たくさんの小さな子ども達が集まりオモチャで遊んだり、親子で歌ったり、読み聞かせがあったり、とてもアットホームな雰囲気の中で、母親達は情報交換したり、とても楽しく通わせていた



新潟市新保 齋藤淳子さん

だいております。子どもが小さい間というのは、なかなか外出もままならず、家のなかでじっと子育てをしているというのが現状で、ストレスもたまりやすく、誰とも話さないで家にいると、気持ちまでも落ち込み気味になるものです。そんな中で今回のリズム体操は子育て奮闘中の私にとってとても強い味方になっております。子育て支援という意味でこれからも母親と子どもが集う場が提供される事を願う今日この頃です。



語りの快さよさに聴衆も、うっとり

読み聞かせの素晴らしさ体験

講演会の終了前に、志茂田景樹さんは自作の童話を2話語ってくれました。志茂田さんの読み聞かせは、本を使わず深みのある声と体全体を使って情景を表現する「語り」であり、かたずをのんで聞き入る聴衆をグングンとお話のすばらしい世界へと引き込んでいきました。涙の方も……

講演を聴いた参加者の声

- これからの人生、プラス思考で生きていく勇気を頂きました。
- 感受性の豊かさの大切さも知りました。
- 心が、洗われた。
- 長い人生、楽しく生きて行く内容がとても良かった。
- 最後に聞いた「語り(読み聞かせ)」が、とても心にしみた。
- 百歳まで生きたいけれど、それには元気で生きなければ意味がない。
- まだ、六十八歳。明るく楽しく、志茂田先生のように周りにも優しく接して生きていきたいと思えます。
- 百歳までの生き方、過ごし方、再認識できるお話で、あつという間の時間でした。
- 語り(読み聞かせ)、やはりプロはすごい。
- とても、感動しました。
- 語り(読み聞かせ)を含めた講演で、とても感動しました。今後も、このようなよい講師をお願いします。

講演会関連情報

公民館内の図書室に志茂田景樹さんの書籍(絵本も含め)を取り揃えました。興味のある方は、どうぞおいで下さい。

きらめき小須戸 (2)

チームワークで連続金賞受賞 小須戸中学校の吹奏楽部



やったね! 金賞

曲一を演奏しました。七月二十九日の下越地区大会(新潟テルサ)で金賞、続いて七月三十一日の長岡市立劇場での県大会でも、金賞を受賞することができました。

目標にしていた県大会での演奏を実現することができ、今まで一生懸命練習してきた成果が実を結び、部員一同(卒業生も含め)喜んでいきます。

これからも、チームワークを大切に楽しく演奏していきます。

白井洋子教諭

こんにちは!!小須戸中学校吹奏楽部です。現在部員数は29名と少なめですが、毎日楽しく、地道に練習しています。この度の新潟県吹奏楽コンクールでは、バルトーク作曲の「ルーミア民族舞

※このコーナーでは地域の話題や、活躍されている人物を取り上げて紹介していきます。

《原稿募集》

声の広場

公民館報は皆さんのものです。それだけに皆さんの声で埋めたいと思っております。建設的なご意見、ご要望、または地域の明るい話題など、なんでも結構です。

・締め切り 毎月二十日まで
・字数 四百字詰め原稿用紙一枚程度
・問合せ 小須戸地区公民館

0250-382234

(館報編集委員会)

・掲載分にはささやかな記念品を差しあげます。

※なお、記事の選考は公民館報編集委員会で行います。

第60回 県展入選作品の紹介 (3)



地方の伝統行事が見直されており、毎年、8月末に開川村で開催されており、大したもん蛇祭りです。

写真部門

「踊る大蛇」



大塚耕栄さん (鎌倉新田)

写真部門

「晩秋の嵯峨野路」



風間 文さん (小須戸)



京都撮影会に参加し途中嵯峨野に下り朝日の登る迄忍耐強く待つ私には初めての体験であった。その一瞬のコマ撮影です。良い勉強でした。

私達花とみどり切絵のグループが生れたのは、平成十一年、分水の内田昭一先生と、小須戸の故石本光男さんとの話し合いで、切絵の会が誕生したのです。内田先生外四人で指導に来て下さり、カッター



手づくりの正月飾り……。楽しいですよ!

昨年からは内田先生が病気になる来れなくなりました。現在は十三人で毎月第二日曜日の夜公民館で集っております。皆で話し合い研究しております。皆さんもお正月飾りの八丁紙を切ってみませんか。一同お待ち致しております。

シリーズ 活動の集だち お正月飾りの八丁紙を切ってみませんか

代表 中山 玲

の使い方、色紙の事、色の付け方、出来た作品を並べての話し合い、大変お世話になりました。花や景色、冬の五合庵いろいろ切りました。お正月近くになると、正月飾りの八丁紙を切り、干支の辰年から切り始め、巳、午、未、申、酉、まで切りました。現在は秋の文化祭で、公民館と、ふれあい会館、矢代田郵便局へは年二回展示します。

声の広場

イラストレーターとして活躍

うでこき出身の大園久子さん(東京在住)



「小須戸の思い出」

私は、二歳、十六年間小須戸で過ごしました。幼少期の自然の中で遊んだ体験は今でもはつきりと覚えています。暇さえあれば、庭でアリの行列を見たり、ダンゴムシやセミ、トンボ、カブトムシ、ザリガニなどたくさんつかまえて飼っていました。家の中にはいつも飼育ケースでいっぱいでした。猫も犬も飼っていました。

に話す大ウケで「もつと話して」といつもせがまれます。子どもの頃の思い出は、新潟の人や自然のことをよく思い出します。今の仕事の中で発想にとっても役立つと思います。内閣府のポスターの採用は今回で四回目ですが毎回「企画競争」でたくさんデザイン案の中から選ばれるので不採用になることが多いです。それでも諦めずに「今度こそ」と思っ毎回デザイン案を作っています。現在は夫と娘と三人で暮らしています。自宅でパソコンを使いデザイン、イラストなどの仕事をしています。小学校でPTAの仕事もしています。この夏休みには「キラキラ」を描こうという講座で講師をやります。子ども達もどんな絵を描いてくれるか楽しみです。



秋の全国交通安全運動

平成17年9月21日～9月30日

内閣府

大園さんの作品

催し物ご案内

- ◎おはなしのせかいへ
 - 日時 八月二十日(土)
 - 午前十時半から
 - 会場 小須戸地区図書館 (公民館内 一階)
 - 対象 幼児から大人まで
 - 読み手 おはなしほけつと
- ◎おはなしのせかいへ(九月の予定)
 - 日時 九月十七日(土)
 - 会場 ふれあい会館 和室
- ◎お金のマジック教室
 - 公民館の教室から愛好者のグループになりました。
 - 日時 九月七日(水)・九月二十一日(水)
 - 午後七時半～九時
 - 会場 小須戸地区公民館 (二階学習室)
 - 会費 千円(教材費等)
- 指導者 県マジック愛好会々員
 - 内容 九月七日 「コインを使った手品」
 - 九月二十一日 「お札を使った手品」
 - 申込み 八月三十日までに、小須戸地区公民館へ ☎3812234連絡のこと
- ◎おもしろ博士講座
 - 新聞をより身近に感じることが出来る、お話です。
 - 日時 八月二十六日(金) 午後七時半～九時
 - 会場 小須戸地区公民館
 - 演題 「支局記者の一日」
 - 内容・新聞ができるまで
 - 取材こぼれ話
 - 講師 佐藤洋子さん (新潟日報新津支局長)

夏休み特大号

「虫食いの川柳」

次の□へ当てはまる漢字を入れて川柳(五七五)にして下さい。

- あれは何も要らないなんて嘘 ヒント: 歌、芝居の台詞でよく聞く
 - 人間も逃げたが□も逃げてゆき ヒント: 長い
 - にされて大地を知らぬ松 ノーヒント
 - 大声で言う正しいような□ ノーヒント
 - 寝言まで□になっている夫婦 ヒント: よっぽどお喋り好きなのね
- *投票箱と用紙は公民館人口にあります。(メー切、八月末日)
*正解者3名の方に粗品を差し上げます。(多数の場合は抽選とさせていただきます)
*正解は次号に掲載します。

川	柳	俳	句
みちのくへ旅立つ朝の更衣	わが友と故郷唄うクラス会	少年の早足に掛けしサングラス	雨上がる忌明けの朝や黒揚羽
十葉の匂ひめぐらし古土蔵	肩の荷が重い姉弟受験する	露天湯で夏雲揺らし浸りけり	老杉に語りかけゆく夏の雲
さんのぎやわれは農衣を脱ぎきれず	よさこいの鳴子が揃う町興し	深閑と紀伊の霊場夏木立	少年の早足に掛けしサングラス
丸山栄子	能登とお	合併で越後平野は緑濃し	藤井ハルエ
五十嵐香月	小林みのる	わが友と故郷唄うクラス会	藤井春江
中野太浪		肩の荷が重い姉弟受験する	岡田良平
		よさこいの鳴子が揃う町興し	能登とお
		深閑と紀伊の霊場夏木立	吉澤文子
		露天湯で夏雲揺らし浸りけり	渡辺信子
		少年の早足に掛けしサングラス	藤井ハルエ
		老杉に語りかけゆく夏の雲	佐久間久子
		雨上がる忌明けの朝や黒揚羽	間野えり
		さんのぎやわれは農衣を脱ぎきれず	丸山栄子
		十葉の匂ひめぐらし古土蔵	五十嵐香月
		みちのくへ旅立つ朝の更衣	中野太浪

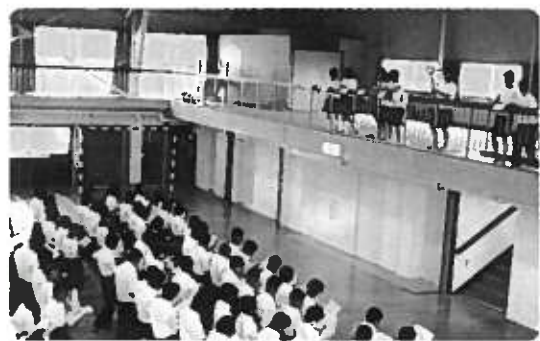
文芸欄

シリーズ 「今、子どもたちは」 (107)

運動会で感動体験を

小須戸中学校

放課後、教室のあちこちから、元気な応援練習の音が聞こえてきます。中学校は今、9月の運動会に向けての準備が始まったところです。小須戸中学校の運動会は生徒の手で創り上げる運動会。運動会の企画・運営は生徒の創意によって創り上げられていきます。



運動会の結団式の様子

ふれあい電話相談

教育相談をはじめ、いろいろな電話相談に応じます。 ◆9月の相談日

◆受付時間 午後1時～5時 ◆電話番号 38-3300 ◆お名前は、言わなくてもいいです。

要約筆記者社員初心者入門講座

(聴覚に障害をもった方へ 文字で伝える)・参加無料 日時 9月7日(水)～11月16日(水) 毎月第1・3水曜日

会場

新津本町二番館 8月30日までに、「新津地区ボランティア支援センター」 ☎25-3740へ連絡のこと

公民館よりお知らせ

◎図書室の夜間開放 毎週金曜日の夜7時～9時 ただし、8月は、9日(火)と23日(火)も開放致します。